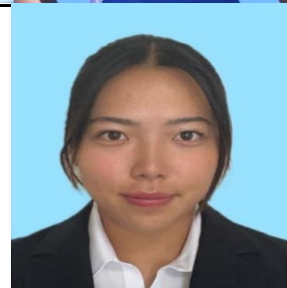


就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	むらかみ あおい	性別	生年月日・年齢
氏名	村上 碧海	女	2004年3月11日
競技名／種別・種目	陸上競技・やり投	21	歳
出身地	広島県広島市		
現住所	神奈川県横浜市		
所属先	日本体育大学陸上競技部		
練習場所	日本体育大学健志台キャンパス(神奈川)・広島大学(広島)		
【選手プロフィール】			
■学歴・職歴			
年	月	学歴・職歴	
2022	3	広島県立西条農業高等学校 卒業	
2022	4	日本体育大学 体育学部体育学科 入学	
2026	3	日本体育大学 体育学部体育学科 卒業見込み	



■免許・資格

普通自動車第一運転免許 介護職員初任者研修
高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得見込み

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2022	8	第19回U20世界陸上競技選手権大会(コロンビア)	10位
2025	7	第32回FISUワールドユニバーシティゲームズ(ドイツ)	出場予定

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2020	10	全国高等学校陸上競技大会2020	優勝
2021	7	第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	優勝
2024	6	第108回日本陸上競技選手権大会	6位
2025	4	日本学生陸上競技個人選手権大会	優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私は、幼少期から団体競技・個人競技の両方に取り組み、それぞれの競技を通じて多くの学びを得てきました。小学生時代に所属していた、ドッジボールクラブでは、全国一を目指し仲間と連携しながら勝利を追求する中で、自然と「協調性」が身につきました。一人ひとりの特性を理解し、互いの強みを引き出すことの難しさや大切さを体感し、チームとして成果を出す喜びを知ることができました。

中学・高校では陸上競技という個人競技に打ち込み、「自らを律し、自分に打ち勝つ力」を養いました。高校2年・3年では全国大会で優勝を果たし、より高い目標を掲げながら日々努力を重ねてきました。

大学では度重なる怪我に悩まされ、思うような結果が出ない時期もありましたが、「決して諦めない姿勢」を貫き、地道に努力を継続しました。苦しい時期も、離れている家族やチームの仲間、指導して下さる方々など多くの方々の支えやサポートがあったからこそ、競技を続けることができた実感しています。最終学年には全国大会で再び優勝を果たし、ユニバーシアード大会への出場権を獲得することができました。

これらの経験から、私は「逆境を乗り越える力」と「目標に向かって粘り強く努力する力」を自分の強みとして確信しています。現在は、2028年のロサンゼルスオリンピック出場を目標に競技を続けており、覚悟をもって挑戦を続けています。競技で培った経験と精神力を活かし、社会人としても組織の一員として貢献できる人間でありたいと考えています。目標に向かって努力を惜しまない姿勢と、粘り強く取り組む力を、御社での業務にも活かしてまいります。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	人と関わる仕事に興味がありますが、どのような業務も責任を持って取り組ませていただきます。
②勤務地	関東・中国(広島)・近畿(大阪)
③勤務日数・時間帯	週2～4日 9時～15時の時短勤務を希望します。試合や合宿に応じてご配慮いただければ幸いです。